

情報通信審議会 情報通信技術分科会

広帯域移動無線アクセスシステム委員会（第12回） 議事要旨（案）

1 日時
平成21年6月16日（火） 10:00～11:00

2 場所
総務省 11階 第三特別会議室

3 出席者（敬称略）

委員会構成員：

安藤 真	東京工業大学大学院
高田 潤一	東京工業大学大学院
吉田 進	京都大学大学院
若尾 正義	(社)電波産業会

事務局：

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 竹内、同課 課長補佐 山口、
同課 第二技術係長 遠藤

説明者：UQコミュニケーションズ 要海、齊藤
ウィルコム 平澤、矢野

4 配布資料

配布資料		提出元
資料2021-12-1	広帯域移動無線アクセスシステム委員会（第11回）議事要旨（案）	事務局
資料2021-12-2	「2.5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件」のうち「小電力レピータの技術的条件(案)」に対する意見募集の結果及び委員会の考え方（案）	事務局
資料2021-12-3	広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告(案)概要	事務局
資料2021-12-4	広帯域移動無線アクセスシステム委員会報告(案)	事務局

5 議事概要

(1) 前回議事要旨の確認

前回議事録の確認が行われた。気づきの点があれば、後日でも事務局あてに連絡することとなった。

(2) 「2.5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件」のうち「小電力レピータの技術的条件（案）」に対する意見募集の結果等について

5月14日から6月12日まで実施された意見募集の結果等について資料2021-12-2に基づき事務局より説明がなされ、案のとおり合意された。

また、6月22日に意見募集の結果の報道発表を行う予定である旨説明がなされた。

(3) その他

委員会報告案概要、委員会報告案について意見交換を実施。概要は以下のとおり。

吉田委員： 移動系のMWAMSからFWASS間の干渉確率について、SS-1で9.8% SS-2で14%と明記したほうがよい。また、事業者間の干渉については、基地局のアンテナの向きをいわれるサイトエンジニアリングで調整する理解でよいか。

事務局： 承知した。また、事業者間の干渉検討については、ご指摘のとおりである。

吉田委員： 韓国におけるレピータの導入実績では、5種類のレベルが報告書に記載されているが、日本でもこのようなレピータが導入されるのか。

要海説明員： 基本的に出力200mW以下のもので、家庭用レピータに相当するもののほかに、鉄筋コンクリート型マンションの一室全体をカバーできるようなものなど、バリエーションを持たせて提供していきたい。

安藤主査： 小型レピータの40dB/3キャリアはどういう使い方をしているのか。

要海説明員： オープンエリアを補足するためのものである。この中には、普通にアナログの電波を受信し、アナログ電波を送信するものの他に、光ケーブルで信号を受けてアナログ電波を送信するものといった、前進基地的なレピータも韓国の場合には含まれると聞いている。

以上